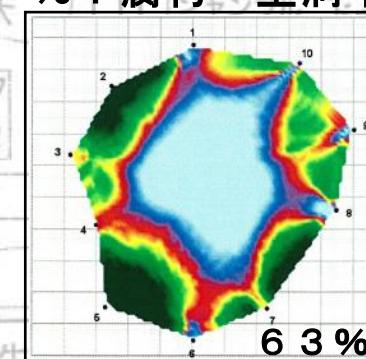


ジンダイアケボノ



% : 傷朽・空洞率



6.5%

47X

46

45

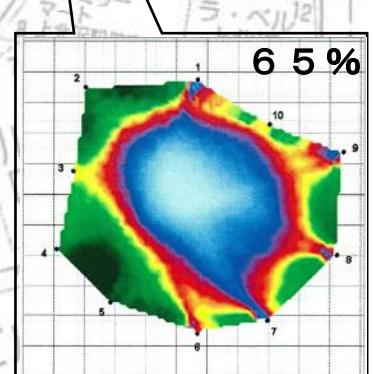
44

1

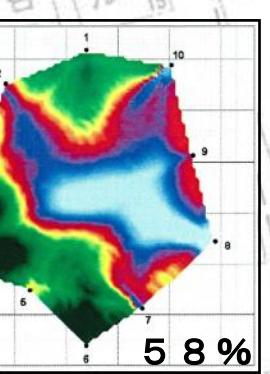
2

杉江木内

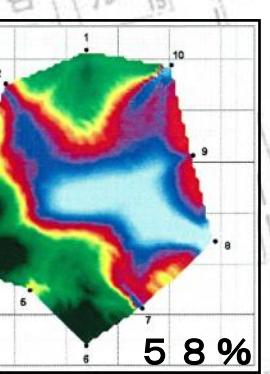
ジンダイアケボノ



ジンダイアケボノ



シロタエ



ジンダイアケボノ

オオシマザクラ

ジンダイアケボノ

ジンダイアケボノ

シロタエ

オオシマザ克拉

ジンダイアケボノ

### 《腐朽・空洞状況》

淡青色	腐朽あり
青色	黄色、赤色、青色、淡青色の順で腐朽がひどくなっていることを表す (青はスponジ状、淡青は空洞の可能性が高い)
赤色	
黄色	
緑色	腐朽なし
濃緑色	緑色、濃緑色の順で材がしっかりとしていくことを表している

観察状況	A	良好・問題は少ない
	B	多少問題あり
C	要対策あるいは観察継続	
成長度と処置状態	○	処置不要の桜木
	□	胴巻きで処置中の桜木
	△	若木（15年以内）
	×	倒木または枯死後 桜木の戸籍のみ

★: 画像診断対象樹木

石井樹木医判定(平成29年2月26日)

画像診断調査(平成28年9月30日)

## 桜診断一覧

## 診断指導：石井誠治樹木医

＊：地上高1.3mの位置の胴周囲 (H24⇒H25⇒H26⇒H27⇒H28⇒H29)

区設定コード	石井樹木医判定 [A → C] (良)→(悪)	平成28年 精密診断によ る腐朽率[空 洞率](%)	平成29年 1月～2月の 処置	平成29年2月観察結果とその後の処置等
1	B			・歩道側（東側）の根が無い。・倒木の危険はある。・Cランクに近い。 ・上部は元気でも、下部は弱っている（コブ病がある）。
2	A	47	上部剪定	・30年未満の桜である。・風の影響で多少ねじれはあるが、良好。・根は元気。・枝にコブ病がある。
50	A		植替え	・2017年1月移植。【ジンダイアケボノ】⇒神代植物園に原木がある、テングス病に抵抗があるといわれる。 ・*胴周囲 27.5cm (H29)
49	B	65	上部剪定	・風の影響で幹がねじれている。・若くて良い枝が出ている。
48	B	63	上部剪定	・車の衝突跡があるが、全体的に生命力がある。 ・サルノコシカケやシロアリがみられるが、根はしっかりとしている。
47	***			・2013年7月伐採（駐車場出入り口に近いため植え替えはしない）。
46	A			・4、5年前に比べ幹は太くなっている。・10年前に比べ凹凸が多くなっている。 ・ヤマザクラ系エドヒガン系の桜は上部の若い部分は横シマで、下部は縦シマになっている。
45	A	49	上部剪定	・樹齢60年以上。・不定根で再生中。・樹勢は問題ないが、樹形が悪く、折れやすい（危険木）。 ・先端はコブがあり、次回の剪定時には処置する（コブの生体は不明）。
44	A	35		・2本の枝で共生の形。・状態は以前よりも良くなっている。・不定根が弱い。
3	A			・2015年11月26日移植。・【ジンダイアケボノ】・*胴周囲 15 (H28) ⇒ 19cm ・2016年9月名板設置。
4	B			・【オオシマザクラ】・壮年期の桜。・Bランクに降格。・何らかの病状が出はじめている。 ・*胴周囲 116 ⇒ 122 ⇒ 128 ⇒ 134 ⇒ 137 ⇒ 137.5cm
5	***			・2007年ナラタケモドキによって根株腐朽し枯死。
6	A			・とくに問題はない。・2016年6月16日植柵を改良。
7	A			・2015年11月27日植柵を改良。・先端部の枝に悪い部分があるが、全体的に大きな問題はない。 ・*胴周囲 160 ⇒ 161 ⇒ 162.5 ⇒ 165 ⇒ 166 ⇒ 167cm
8	A			・不定根が育っている。・とくに問題はない。
9	A	58	上部剪定	・樹形は悪いが、不定根が土に下りて問題はない。・戦前からの桜の可能性有り。 ・樹高が低く、根もしっかりとしているが、腐蝕もあり、やや危ない木となりつつある。
43	A		植替え	・2017年1月移植（樹齢は6～7年）。・【ジンダイアケボノ】・*胴周囲 29cm (H29)
42	A			・2011年12月15日移植。・*胴周囲 21.5 ⇒ 25.5 ⇒ 34 ⇒ 39 ⇒ 44 ⇒ 48.5cm
41	A			・2016年2月3日移植。・【ジンダイアケボノ】・葉芽が多く、花芽は少ない。 ・*胴周囲 11 (H28) ⇒ 15cm ・2016年9月名板設置。
40	A			・2013年8月伐採。・2014年3月14日移植。・健全。・花芽が多い。・成長が楽しみである。 ・樹種はオオシマザクラを主としたヤマザクラ系の「シロタエ」。 ・*胴周囲 18 (H27) ⇒ 20 ⇒ 23cm ・2016年9月名板設置。
39	A			・枝ぶりも良く元気である。・苔が多いが、問題はない。・とくに苔は湿気がある北側に多い。
38	A	35		・不定根はあるが、良いものは少ない。
51	A			・2005年11月移植。・幹の曲がりが将来的には心配。 ・*胴周囲 4.5 ⇒ 5.2 ⇒ 6.2.5 ⇒ 6.8.5 ⇒ 7.4 ⇒ 7.9.5cm
10	A	37		・樹形は悪いが、樹勢は良好。・不定根が良く育ち、幹がよみがえっている。
11	A	21		・樹勢はとくに問題はない。・2016年6月16日植柵を改良。
12	A			・幹は太くはないが、とくに問題はない。
13	A	49	上部剪定	・コブが出ており、樹勢が弱くなりつつある。・根はのたうちまわっている。
14	A			・2005年11月移植。とくに問題はない。・枝葉がだいぶ増えてきた。 ・*胴周囲 38.5 ⇒ 44 ⇒ 53 ⇒ 59.5 ⇒ 65 ⇒ 73cm
15	B			・回復途中。・若い割にコブがあり、イメージは悪い。・*胴周囲 75 (H28) ⇒ 77cm
16	***			・2013年7月伐採。
17	A			・2005年11月移植。とくに問題はない。・幹の途中から下は桜肌が無い（エドヒガンの樹皮のようだ）。 ・*胴周囲 39 ⇒ 43 ⇒ 55 ⇒ 57.5 ⇒ 59 ⇒ 60cm
37	C	30		・根元にナラタケモドキがあり、腐朽が進んでおり、活力がない。・枝の先端が細く垂れている。 ・陽が当たりにくいのも原因か。・最も危険な桜。
36	B	54	上部剪定	・Bランクに降格。・陽当たりが悪く、樹勢が衰える。
35	***			—
34	A			・内部に若干問題が出はじめている。
33	***			—
32	A		植替え	・2017年1月移植。・【ジンダイアケボノ】・2017年に移植した3本の中では最も元気がない。 ・*胴周囲 25.5cm (H29)
31	A			・先端の枝は勢いがある。・コブがあるが良性。・根元は露出しているが、元気である。
30	C	11		・良い枝が少ない。・幹にはコフキサルノコシカケがある。 ・北側部分のみ生きており、No.37に次いで危険。
18	A	23		・樹勢はとくに問題はない。・不定根で幹を守っている。
19	A	58	上部剪定	・良い根が多く出ている。
20	B	56	上部剪定	・戦前からの桜(?)。・枝切り後であるが、あまり元気ではない。根はしっかりとしている。
21	A	31		・樹勢はとくに問題はない。
22	A			・以前ひこばえが白化した。・No.23の勢いに負けている。
29	A			・2013年3月移植。・土壤と陽当たりが悪く、あまり育っていない。 ・*胴周囲 17.5 (H27) ⇒ 19.5 ⇒ 23cm
28	B	53	上部剪定	・全体的にバランスが悪く、幹が道路側に傾く可能性がある。
27	B	52	上部剪定	・道路側の折れた枝から伸びた新枝は太くなってくると危険。・要経過観察。
26	B	36	上部剪定	・初代に近い頃の桜。・亀裂がある。・周辺の建物の影響かもしれないが、傾きが以前より多くなっている。
25	B	47		・初代並木の数少ない残存木。・空洞があり多少ピンチだが、根はしっかりとしており、倒木の危険は少ない。
24	A			・将来的にNo.25のように空洞は出来るが、全体的に樹勢は良い。・良い枝があり、根も元気である。
23	A			・西側に亀裂があるが、とくに問題はない。・樹皮からみて20数年の桜か。 ・*胴周囲 ○ ⇒ 108 ⇒ 113 ⇒ 118 ⇒ 124 ⇒ 128cm